

# 採択演題一覧

【一般口演】12月8日(土)～9日(日)

- O1-1 ECMモデル材料とその場観察可能基板を用いた神経系細胞の新規三次元培養技術の開発  
水町 秀之 (九州大学)
- O1-2 初代肝細胞の非接着単一細胞培養技術  
井嶋 博之 (九州大学大学院)
- O1-3 RWV 回転培養による3次元癌組織構築技術と抗ガン剤に対する応答  
植村 寿公 (産業技術総合研究所)
- O1-4 肺胞上皮培養細胞を用いたチタン酸化物ナノ粒子の in vitro 有害性評価  
岩沢 こころ (東京大学生産技術研究所)
- O1-5 Functions and gene expressions of rat hepatocytes under different cultures using oxygen-permeable membranes for drug screening  
肖 文晋 (東京大学大学院)
- O1-6 酸素透過性マイクロウェル構造を用いた凝集体形成－臍島・細胞・肝実質細胞凝集体の形成と大きさ依存性評価－  
篠原 満利恵 (東京大学大学院)
- O1-7 中空糸膜型三次元細胞培養モジュールの開発－肝細胞増殖に関して－  
渋谷 望 (三菱レイヨン株式会社)
- O1-8 中空糸膜型三次元細胞培養モジュールの開発－肝細胞機能に関して－  
石井 貴晃 (崇城大学)
- O1-9 初代ラット肝細胞スフェロイドの分化機能および薬剤耐性に対する粒径、共培養の影響  
沖村 沙耶 (東京理科大学大学院)
- O1-10 非実質細胞との共培養による肝スフェロイドの高機能化と代謝機能の解析  
長村 麻紗子 (東京理科大学大学院)
- O1-11 ラット凍結肝細胞 CYP 酵素誘導評価における3次元スフェロイド培養の応用  
奥村 浩敏 (大正製薬株式会社)
- O2-1 酸化ストレスを指標とした光感作試験代替法の開発  
西田 勇人 (資生堂リサーチセンター)
- O2-2 曝露形態に着目した共培養による in vitro 肝毒性評価法の検討  
幸 克行 (花王株式会社)
- O2-3 培養角膜モデル LabCyte CORNEA-MODEL24 を用いた眼刺激性試験代替法共同研究  
小島 肇 (国立医薬品食品衛生研究所)
- O2-4 グリベンクラミドによる胆汁酸依存的肝毒性における種差の検討  
薄田 健史 (千葉大学薬学部)

- O2-5 シリカナノファイバー培養担体を用いた抗癌剤新規評価系  
山口 慶枝 (株式会社日本生物製剤)
- O2-6 肝臓内非結合型薬物濃度を予測するための *in vitro* 実験法の検証  
池尻 和明 (東京大学大学院薬学系研究科)
- O2-7 新規パラメータ広域最適化法を用いた薬物間相互作用の生理学的薬物速度論モデル解析  
吉田 健太 (東京大学大学院薬学系研究科)
- O3-1 ナノマテリアルが脳に与える影響評価法の開発  
藤岡 宏樹 (東京慈恵会医科大学)
- O3-2 細胞積層法に基づく新しい生体組織モデルの創製  
明石 満 (大阪大学大学院)
- O3-3 成体腎臓幹/前駆細胞からの腎臓構造再構築とその解析  
喜多村 真治 (岡山大学大学院)
- O3-4 IL-8 Luc assay の施設間差試験-Phase I, Phase II a の結果ならびに今後の展望-  
木村 裕 (東北大学大学院)
- O3-5 細胞毒性発現機序を考慮した Embryonic Stem Cell Test (EST 法)による発生毒性評価  
中村 和昭 (国立成育医療研究センター研究所)
- O3-6 ヒト肝細胞とマウス ES 細胞のハイブリッド培養による *in vitro* 発生毒性試験法の開発  
今井 弘一 (大阪歯科大学)

**【ポスター発表】** 12月8日(土)~9日(日)

- P1 粧工連における代替法を用いた皮膚感作性評価への取り組み(第1報) -*in vitro* 試験/*in silico* system を組み合わせた評価体系の構築-  
竹之内 修 (花王株式会社)
- P2 粧工連における代替法を用いた皮膚感作性評価への取り組み(第2報) -ニューラルネットワーク手法を用いた評価体系の構築-  
廣田 衛彦 (株式会社資生堂)
- P3 粧工連における代替法を用いた皮膚感作性評価への取り組み(第3報) -ロジスティック回帰を用いた評価体系の構築-  
岡本 賢二 (株式会社カネボウ化粧品)
- P4 惹起相をとりいれた新規 LLNA:DA 法の検討-LLNA:DA2 の可能性-  
山下 邦彦 (株式会社ダイセル)
- P5 CBA/J あるいは CBA/Ca マウスを用い OECD TG429 に準拠した LLNA 試験並びに CBA/J マウスを用い TG442B に準拠した LLNA 試験の定量的比較  
前田 洋祐 (一般財団法人化学物質評価研究機構)
- P6 LabCyte EPI-Model を用いた JIS L 1918 繊維製品の皮膚一次刺激試験  
渡辺 美香 (財団法人品薬品安全センター)

- P7 敏感肌を対象とした *in vitro* 皮膚刺激性試験の検討（第2報）  
池田 英史（日本コルマー株式会社）
- P8 単層培養系を用いた油溶性物質の皮膚刺激性評価法に関する検討  
野村 茂幸（株式会社コーセー）
- P9 構造活性相関手法を用いたアクリレートの皮膚感作性予測  
藤田 正晴（富士フイルム株式会社）
- P10 香料素材のリスクアセスメントへの応用を目指した *in vitro* 皮膚感作性評価の検討  
佐野 裕樹（花王株式会社）
- P11 眼刺激性試験代替法である STE 試験の化粧品製品を用いた施設間再現性  
安保 孝幸（花王株式会社）
- P12 *in vitro* 眼刺激性試験である STE 試験の適用範囲明確化—ピアレビューに向けた進捗—  
額田 祐子（花王株式会社）
- P13 眼刺激性評価のための牛角膜を用いた混濁度および透過性試験法（BCOP 法）  
榊原 隆史（株式会社化合物安全性研究所）
- P14 SIRC-CVS 試験を用いた眼刺激性評価代替法の国際バリデーション研究（I）  
簾内 桃子（国立医薬品食品衛生研究所）
- P15 異なる複数の実験結果を用いた実験データ決定へのインシリコの適用提案  
湯田 浩太郎（株式会社インシリコデータ）
- P16 フェノチアジン誘導体をモデル薬物とした高効率的光毒性リスク評価  
加藤 尚視（静岡県立大学大学院）
- P17 代替法を用いた光毒性評価フローの開発  
藍澤 早希子（株式会社コーセー）
- P18 医薬品の光安全性評価のための Reactive Oxygen Species (ROS)アッセイ—JaCVAM 多施設バリ  
デーション研究—  
岩瀬 裕美子（田辺三菱製薬株式会社）
- P19 ヒト ES 細胞由来網膜色素上皮細胞を用いた光毒性予測試験の検討  
安藤 覚（住友化学株式会社）
- P20 マウス ES 細胞由来神経細胞を用いた *in vitro* 神経毒性試験法の検討  
小林 久美子（住友化学株式会社）
- P21 ES 細胞の神経分化過程を利用した新規発生毒性代替法試験の検討  
鈴木 紀之（住友化学株式会社）
- P22 薬剤性組織傷害の動物モデルとしてのカイコの有用性  
稲垣 善則（東京大学大学院）
- P23 Silkworm（カイコ）を用いた急性経口毒性試験代替法の開発  
杉田 拓也（常盤薬品工業株式会社）
- P24 Silkworm（カイコ）を用いた急性経口毒性試験代替法の投与方法の検討  
植木 拓朗（常盤薬品工業株式会社）

- P25 p53R2 遺伝子発現に基づくヒト細胞遺伝毒性試験 (NESMAGET、第 13 報)－安定発現細胞株の樹立－  
溝田 泰生 (日清食品ホールディングス株式会社)
- P26 遺伝子発現に基づく発がんプロモーター短期検出法 (NESTUP, 第 6 報)－ハイスループット化の検討－  
前島 秀樹 (日清食品ホールディングス株式会社)
- P27 Bhas 42 細胞形質転換試験における 6-ウェル法と 96-ウェル法の同等性－国際バリデーション研究の結果から－  
酒井 綾子 (一般財団法人食品薬品安全センター)
- P28 虚血性心疾患治療後の再灌流に伴う細胞障害モデルに対する副交感神経の影響  
有海 秀人 (北里大学薬学部)
- P29 培養ラット胎児へのフオルスコリンの影響  
横山 篤 (神奈川生命科学財団)
- P30 培養ラット胎児への  $\alpha$ -リポ酸の影響  
横山 篤 (神奈川生命科学財団)
- P31 培養ラット胎児へのルテインの影響  
秋田 正治 (鎌倉女子大学)
- P32 ジクロフェナクアシルグルクロナイドの細胞毒性に関する検討  
宮下 泰志 (金沢大学)
- P33 ガス透過性膜と 3 次元マイクロパターンを利用した肝細胞培養系の胆管代謝物と薬物代謝関連遺伝子の解析  
松井 等 (BEANS 研究所)
- P34 レパグリニド代謝に関与する CYP 分子種の寄与率の推定  
松原 亜耶 (武蔵野大学)
- P35 遺伝的数式プログラミング法による CYP3A4 阻害活性予測モデルの構築  
藤田 淳人 (京都大学大学院)
- P36 P-glycoprotein 輸送基質に関する構造活性相関解析  
吉田 秀哉 (京都大学大学院)
- P37 消化管数理モデルによる変異型 BCRP (ABCG2 421C>A) の in vivo 機能解析  
田中 裕太 (杏林製薬株式会社)
- P38 OCT3 への corticosterone 結合の評価－OCT3 阻害物質探索への利用－  
青木 那佳 (名古屋市立大学大学院)
- P39 カチオン系薬物(8 遮断薬とトリプタン)の腎排泄機構の解析  
鬼頭 朋子 (東京大学薬学部薬学科)
- P40 ヒト脳毛細血管内皮細胞株 hCMEC/D3 を用いたカチオン性薬物のヒト血液脳関門透過性予測の試み  
出口 芳春 (帝京大学)

- P41 ヒポタウリンのヒドロキシラジカル消去活性による胎盤細胞保護効果－胎盤関門モデル細胞株 TR-TBT 18d-1 の活用－  
Mariam Duereh (慶應義塾大学)
- P42 胎盤関門機能解析系としてのヒト胎盤細胞膜ベシクルの活用  
俵 智裕 (慶應義塾大学)
- P43 S-ニトロソ化に伴う□1-酸性糖タンパク質の抗菌機能獲得と感染症治療への応用  
渡辺 佳織 (熊本大学大学院)
- P44 細胞内カルシウム濃度を指標とする新しい上皮膜刺激性評価方法の検討  
光山 愛美 (城西大学大学院)
- P45 リポソームを用いた経皮吸収促進剤のスクリーニング法の確立  
北尾 勇樹 (城西大学薬学部)
- P46 光毒性リスク評価のための改良型 ROS assay の開発  
鈴木 源 (静岡県立大学薬学部)